

南の国から

よ・う・こ・そ・都留へ

沖縄県西原町のみなさん



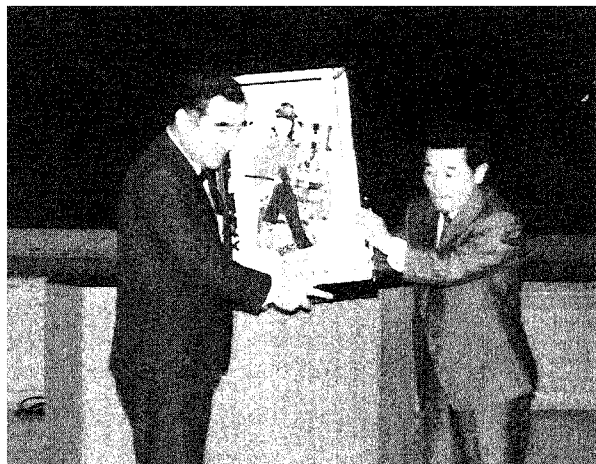
「文教のまち」

西原町

去る、七月二十七日から二十九日までの三日間、はるばる沖縄から平安恒政町長をはじめとする「西原町青少年ふれあいの旅」の一行五十三名が都留市を訪れ、市内の小中学生と交流を深めました。

西原町は、県都那覇市の北東約十キロメートルに位置し、コバルトブルーの海に面した緑豊かなすばらしい環境のまちです。

戦前、戦後を通じ、サトウキビを中心とした純農村として発展してきましたが、昭和五十六年に那覇から国立琉球大学が移転したのを契機に「文教のまち」へと変貌しています。



平安町長から都倉市長へ琉球人形が贈られました

同町とのなれそめは、昭和六十二年、沖縄県で開催された『海邦国体』でした。都留市同様、成年男子バスケットボールが西原町で開催されたのが直接のむすびつきとなったのです。

今年、西原町は町制施行十周年をむかえました。これにあたり、都留市とより一層の友好を深めようと来市したものです。

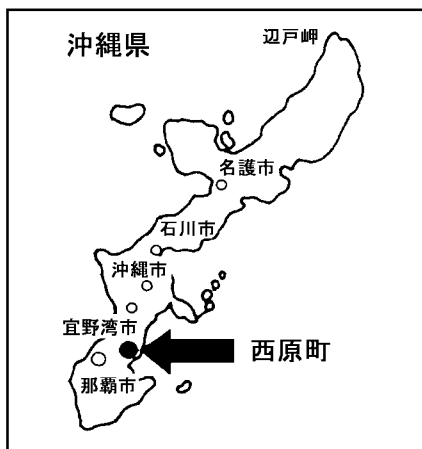
海と山という違いはあれ、すばらしい自然に恵まれ、互いに大学を核とした『学園都市』であるという共通点があります。これから二十一世紀に向けてはばたこうとする子どもたちを中心として様様なふれあい、新しい友情の輪がわたしたちのまち都留市でまた一つ芽生えました。



「エイサー」を披露



ムササビ観察会



西原町の沿革

面積：15.40 km²

世帯数：7,292

人口：24,715人

男：12,636人

女：12,079人

*昭和63年12月末現在



西原町花「ブーゲンビリア」



西原町木「ガジマル」